

公益社団法人福岡県介護福祉士会 平成25年度事業報告 (公益目的事業)

【公1】介護福祉向上のための調査・研究事業

1) 論文作成研究事業

〔目的〕

本会は、介護に関する論文作成に伴う研究を行い、介護の実態を検証することにより、より良い介護の提供を目指す。

〔対象者〕

介護福祉士や他の介護関連資格保有者など

〔内容〕

研究手法や論文作成方法等についての指導を行うことにより、論文を執筆することができる質の高い介護福祉士を育成する。年間4～6回程度委員会を開催し、前述の指導を行っている。また、後述する福岡県介護学会を始めとし、他の介護関連学会での発表を促している。

〔本年度の取り組み〕

- 日 程 : ①平成25年 8月 3日
②平成25年11月 2日
③平成26年 2月 1日
- 内 容 : ①「事例・論文とは」「研究テーマの決定」
②「事例・論文の指導」
③「事例・論文の指導」
- 会 場 : ①クローバープラザ
②③福岡県介護福祉士会 研修センター
- 参加者 : ①15名(申込者:21名)
②12名(申込者:17名)
③10名(申込者:17名)

2) 介護学会事業

〔目的〕

論文や事例検討についての発表を通じて、介護の質と介護福祉士の社会的評価を向上させることにより、より良い介護の提供を目指す。

〔対象者〕

介護福祉士や他の介護関連資格保有者など

〔内容〕

介護学会を開催して、論文、事例研究、一言提言の発表を行う。

〔本年度の取り組み〕

- 日 程 : 平成26年 3月16日(日)
- 会 場 : クローバープラザ506研修室
- 参加者 : 94名(申込者:112名)
- 基調講演: 桐衣 朝子 氏 「新しいことを始める為に ～今からでも遅くない!!～」
- 発表者 : ①田中 明美「入浴拒否が強い認知症独居の方の対応方法を考える」
②山田 裕基「障害を否認する中途視覚障害者への自己効力感を高める支援」
③安田 真理子「障害者と保護者の高齢化問題と対策を考える」
④三小田 清子「職員の意識の向上」
⑤隈元 由美子「アルコール依存症のある人を通して ～1人暮らしの生きがいを見つける～」
⑥田中 徹「認知症利用者の不安やストレスを軽減させるためのアプローチ ～趣味だった書道を活かして役割を持って頂く～」
⑦林田 恵美「音楽がつなぐ他者との関わり ～音楽の楽しみ方と、もたらす効果～」

- ⑧水田 晶子「障害のある人にとって“あそび”の持つ意味」
- ⑨落石 朋美「徘徊行動のある方への対応について ご利用者様の思いと向き合う」
- ⑩荒木 めぐみ「いつまでも美しくあるために ～ハンドケアを通しての一考察～」
- ⑪満長 久恵「何も出来ないという不安な気持ちを軽減するために」

3) 海外研修事業

〔目的〕

海外の介護福祉事情を視察し介護環境の向上に役立てる。

〔対象者〕

介護福祉士などの介護従事者以外にも一般県民を含む

〔内容〕

5～7日間程度の日程を組み、諸外国への視察を行う。視察後はレポートをまとめ、会員に配布する等して情報の共有を図り質の向上に努める。

〔本年度の取り組み〕

日 程 : 平成26年 3月19日(水)～3月23日(日) 3泊5日

場 所 : デンマーク

視察先名: ①LOPO (ロポ: 国際研修センター)

②SYMPHONIEN (シンホニエン: 高齢者介護施設)

③KILDEMARKSCENTER (キンデルマークセンター: 訪問介護事業所)

④DIMENTIACENTER PILEHUSET (ディメンティアセンターフィルセット: 認知症施設)

⑤KLARAHUS (クララhus: 認知症施設)

⑥VERAHUS (ベラhus: 障害者施設)

参加者 : 36名

4) 関連団体が行う調査事業への協力

〔目的〕

関連団体との協力関係を強化し、県民の介護福祉の質の向上に寄与する。

〔対象者〕

他の介護福祉士会や社会福祉士会などの福祉関連団体や大学教授などの研究者

〔内容〕

関連団体が行う調査事業への協力を行う。近年の実績でいえば、社団法人日本介護福祉士会が行う「介護現場におけるサービスの質の確保に関する調査研究」や「災害時における介護福祉支援ボランティア・マニュアル」などの調査研究や学術研究のための調査に協力した。

〔本年度の取り組み〕

①平成25年7月、公益社団法人日本介護福祉士会より「介護職員処遇改善に関する調査」への協力依頼あり。本会会員247名に調査票を配布、うち179名記入済み調査票の回収を行った。

②平成25年8月、大阪大学大学院人間科学研究科 佐藤眞一教授より公益社団法人日本介護福祉士会を通じて「介護の仕事に関するアンケート」への協力依頼あり。

本会会員100名に調査票を配布。(回収結果については日介より報告なし)

③平成25年9月、公益社団法人日本介護福祉士会の賛助会員である「メディバンク株式会社」より第一三共ヘルスケア(株)のハンドクリームサンプル配布及びアンケートへの協力依頼あり。

本会会員143名にサンプル及びアンケート配布。(回収結果については報告なし)

5) 制度政策検討事業

〔目的〕

介護の質の向上のために福祉制度の改善や介護従事者の業務特性を明らかにすることを目的とする。

[対象者]

行政機関や日本国民

[内容]

委員会を開催するなどして、介護保険制度等に関する改善提言のとりまとめや介護福祉士の専門性に関する分析などを行う。その結果を行政機関や国民に周知していく。

[本年度の取り組み]

- 日程 平成25年 6月18日～平成26年 3月 1日
- 第1回 平成25年 6月18日 福岡市型地域包括ケアについて
- 第2回 平成25年 7月26日 介護報酬改定に向けた平成20年度提言書の見直し
- 第3回 平成25年 8月 9日 介護報酬改定に向けた平成20年度提言書の見直し
- 第4回 平成25年 8月12日 提言書2013 (まとめ)
- 第5回 平成25年10月16日 介護雇用改善計画に盛り込むべき事項に係る意見(まとめ)
- 第6回 平成25年12月 5日 介護雇用改善計画に盛り込むべき事項に係る意見(まとめ)
- 第7回 平成26年 2月 1日 介護福祉士資格取得方法の見直し施行1年延期に関する意見まとめ
- 第8回 平成26年 2月14日 介護福祉士資格取得方法の見直し施行1年延期に関する意見まとめ
- 第9回 平成26年 3月 1日 延長問題についての検討

8月に日本介護福祉士会へ、平成25年度緊急提言書を提出した。提言要旨は次の通り。

1. 要支援認定者の地域支援事業への移行反対
2. 介護福祉士の業務にみあった給与保障
3. 介護福祉士の早期の業務独占資格化

また2月に厚生労働省へ、介護福祉士の資格取得方法の見直しの施行延期等についての緊急要望書を提出した。

(作業委員会)

- 第1回 平成25年 8月 5日 介護報酬改定に向けた平成20年度提言書の見直し

(委員名)

織間 修 (委員長)	因 利恵	中村 猛志	藤野 裕子	江口 賀子
川原 秀幸	寺田 修	小池 多恵子	田中 信幸	吉富 等志子
中野 桂子				

6) 災害対策検討事業

[目的]

いつ起こるかかわからない日本国内における天変地異による災害等で介護等必要な支援活動を行う際、介護支援ボランティアが円滑に活動できるようにする。

[対象者]

介護福祉士等の介護従事者

[内容]

社団法人日本介護福祉士会が作成した「災害時における介護福祉支援ボランティア・マニュアル」の見直しや災害時に役立つ介護技術等を検討する。

[本年度の取り組み]

- 日程 平成25年11月11日～平成26年 2月12日
- 第1回 平成25年11月11日 「ふくおかで災害が起きたときに、福介として取る行動」まとめ、マニュアル案検討
- 第2回 平成25年11月20日 緊急時連絡網、連絡体制、フローチャート案の作成
- 第3回 平成25年12月11日 マニュアル最終チェック、緊急連絡体制について、理事会提案事項の確認
- 第4回 平成26年 2月12日 理事会検討事項報告、福岡県との協定、来年度委員会について

(委員名)

藤野 裕子(委員長)	織間 修	江口 賀子	中野 桂子	原口 早苗
江頭 希代子	今西 静枝			

【公2】 県民への介護福祉に関わる情報提供及び啓発事業

1) 公開セミナー事業

[目的]

広く県民に介護福祉に関する知識の伝達をし、社会全体の福祉に対する意識の向上などを図ることを目的とする。

[対象者]

一般県民、介護福祉士などの介護関連資格保有者など

[内容]

本会の総会時などで行う基調講演などを一般開放して、誰もが参加できる講演やセミナーを開催する。

[本年度の取り組み]

<平成25年度定時社員総会>

日 程 : 平成25年 6月 8日

会 場 : クローバープラザ クローバーホール

参加者 : 185名

内 容 : 基調講演(公開講座)「介護職に求められる医療知識」

講 師 : 久留米大学文学部社会福祉学科教授 鬼崎 信好氏

2) 広報事業

[目的]

広報紙やホームページを通じて、県民に対して福祉に関する啓発活動を行う。

[対象者]

県内の介護事業所、本会の会員、その他購読希望者など

[内容]

介護の専門職団体として、最新の福祉動向や本会の開催する研修などの広報紙やホームページに掲載して情報提供及び啓発活動を行う。広報紙は年間6回発行し、毎回およそ3,500部を配布する。

[本年度の取り組み]

介護の専門職団体として、最新の福祉動向や本会の開催する研修などを広報誌やホームページに掲載した。広報誌「福介ニュース」を4月、6月、8月、10月、12月、2月の年間6回発行し、本会の会員、県内の介護事業所、購読希望者を対象に毎回およそ3,000部配布した。同時にホームページの更新を随時行い、年間17,500人程度の人が閲覧した。

3) 講師派遣事業

[目的]

介護従事者や一般県民に対して、介護に関する知識や技術を普及することを目的とする。

[対象者]

セミナーや研修会の主催者

[内容]

社会福祉協議会等の団体からの依頼をうけ、セミナー、研修会等への講師の派遣を行う。他団体の開催する研修会に講師を派遣することにより、より多くの方に対して知識や技術の普及を行うことができる。

[本年度の取り組み]

別紙(平成25年度講師派遣依頼一覧)参照。

4) 行政機関等が行う介護に関するイベント協力

〔目的〕

介護に関する普及啓発を目的とする。

〔対象者〕

イベント主催者

〔内容〕

行政機関等が開催する、介護に関するイベントに協賛又はスタッフとして参加する等して、間接的に介護に関する普及活動を行う。

〔本年度の取り組み〕

福岡県が主催した「ふくおか介護フェスタ2013」における実行委員会の設置について、福岡県より協力依頼があり、審査員や大会運営ボランティアを派遣しイベント協力を行った。また、「ふくおか介護フェスタ2013」において行われた、介護技術競技「ふくおかケアコンテスト2013」については、県内4地区（福岡、北九州、筑豊、筑後）で9月～10月にかけて予選大会を行い、運営等ボランティア・審査員の派遣も行った。

日 程 : 平成25年11月24日

場 所 : パピヨン24 2階ガスホール

内 容 : 「ふくおか介護フェスタ2013」の受付・運営等ボランティア

「ふくおかケアコンテスト2013」（介護技術競技）の決勝大会審査・講評

5) 介護の日啓発事業

〔目的〕

平成20年に制定された介護の日を県民に周知することを目的とする。

〔対象者〕

県民全体

〔内容〕

街頭行動やシンポジウムなどの開催、行政機関等の関連団体が行う啓発事業への協力を行う。

〔本年度の取り組み〕

福岡市支部、福岡支部、北九州市支部、筑豊支部、筑後支部の5支部において電話相談や悩み相談のチラシや宣伝用絆創膏の配布及び行政機関等の窓口にチラシを設置し、介護の日を県民にPRした。チラシは2,600部配布又は設置した。

【公3】介護従事者などに対する相談、研修事業

1) 相談事業

〔目的〕

県民や介護従事者からの介護に関する悩み相談に応じ、介護負担の軽減などを図ることを目的とする。

〔対象者〕

県民、介護従事者など

〔内容〕

全国一斉介護相談と称して、老人週間に本会事務局にフリーダイヤルを設置し、県民からの介護に関する悩みや質問への無料相談を受けつける。本事業を周知するために、街頭でチラシ配布を行う等する。また、本会事務局に設置している固定電話にかかってくる介護に関する質問に答える等、事務局職員が情報提供を行っている。更に、介護従事者などの悩み相談に応じるために専門の相談員による相談会を開催する。

[本年度の取り組み]

1 1月11日介護の日に本会事務局にフリーダイヤルを設置し、県民からの介護に関する悩みや質問への無料相談を2件受けつけた。また、1年を通して本会事務局に設置している固定電話に介護に関する質問が28件あり、介護福祉士を含む事務局職員が質問に答えるなどして情報提供を行った。更に、介護従事者などの悩み相談に応じるために本会の専門相談員による相談会を開催し、1件の相談があった。

2) 就職支援事業

[目的]

介護の仕事に従事したいと考えている者に介護業務の内容や資格取得方法についての情報提供や求人情報の提供を行い就職を支援することを目的とする。

[対象者]

学生、介護業務に従事したいと考えている者、県民

[内容]

他団体が主催する「福祉の職場説明会」に主催者の依頼により介護福祉士を派遣し、学生や今後介護業務に従事したいと考えている方等の来訪者に対して、介護業務の内容や介護事業毎の特徴、介護福祉士の資格取得方法等の情報提供を行い就職を支援する。また、広報誌などを通じて本会に寄せられる介護事業所等からの求人情報を提供する。

[本年度の取り組み]

25年度より県社協主催「福祉の職場説明会」での就職支援依頼がなくなったため、他団体主催の分は実績なし。広報紙、ホームページ、Facebookを通じて本会に寄せられた介護事業所からの求人情報提供数は20件あった。

3) 受験対策事業

[目的]

介護関連資格取得を支援することを目的とする。

[対象者]

介護関連資格取得を目指している者

[内容]

介護福祉士資格取得を目指す方を対象に、試験対策模擬試験、実技講習会を実施する。また、介護支援専門員の資格取得を目指す方を対象に、受験対策講習会、全国統一模擬試験を実施する。これにより高齢者の福祉を担う人材の育成を行っている。

[本年度の取り組み]

<介護福祉士受験対策講習会>

日 程 : 平成25年 8月 6日~12月 3日 (延べ5日間)

会 場 : 福岡県介護福祉士会研修センター

参加者 : 11名 (申込者: 11名)

<介護福祉士国家試験対策全国一斉模擬試験>

日 程 : 平成25年12月 8日 (日)

会 場 : クローバープラザ 506研修室

参加者 : 59名 (申込者: 69名)

<実技講習会 (2日間コース) >

日 程 : 平成26年 2月22日 (土) ・ 2月25日 (火)

会 場 : ふくふくプラザ 介護実習室

参加者 : 38名※延べ人数 (申込者: 55名)

<実技講習会 (1日コース) >

日 程 : 平成26年 2月23日 (日)

会 場 : ふくふくプラザ 介護実習室

参加者 : 34名 (申込者: 38名)

<介護支援専門員受験対策講習会>

日 程 : 平成25年 8月18日 (日)

会場：クローバープラザ セミナールームAB
参加者：21名（申込者：21名）

<介護支援専門員受験対策模擬試験>

日程：平成25年 9月11日（水）
会場：クローバープラザ 506研修室
参加者：16名（申込者：23名）

4) 介護福祉士生涯研修事業

[目的]

質の高い介護が提供できるよう、介護福祉士が生涯に渡り研鑽していくべき研修の機会を提供することを目的とする。

[対象者]

介護福祉士

[内容]

介護福祉士資格取得後おおむね1年程度の初任者を対象に、質の高いサービス提供者となっていくための、職業倫理、最新の知識、技術の修得等を目的とする研修会を開催する。研修時間は21時間程度で、おおむね3日間で修了する形式をとる。また、介護福祉士資格取得後おおむね2～3年程度の方で、小規模チームのリーダーとして活躍している又は今後活躍が期待できる方を対象にして、ファーストステップ研修を行う。カリキュラムは個別ケア、地域との連携、チームの運営管理の3つに分かれ、事前事後課題を含めると延べ200時間の研修である。

[本年度の取り組み]

<介護福祉士初任者研修>

日程：①平成25年 7月20日（土）、②7月24日（水）③8月3日（土）
会場：①②福岡県介護福祉士会研修センター、③クローバープラザ
参加者：16名（申込者：16名）

<ファーストステップ研修>

日程：平成25年 8月20日 ～ 平成26年 3月20日（延べ15日間）
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
参加者：16名（うち修了者：14名）

<サービス提供責任者研修>

日程：平成25年10月12日 ～ 平成26年 3月15日（延べ6日間）
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
参加者：22名（うち修了者：17名）

5) 介護実習指導者講習会事業

[目的]

現場で介護実習担当を担う者の資質を向上することにより、介護福祉士養成施設で学ぶ学生がより効果的な現場実習を体験することを目的とする。

[対象者]

介護現場で実習担当を担う者、今後担うことが予定されている者

[内容]

学生への指導技術の向上に資する研修を行う。法律改正により本講習を受講しなければ、学生への実習指導にあたることができないこととなったため、将来の人材を育成するためには必要な研修会である。

[本年度の取り組み]

<介護福祉士実習指導者講習会>

日程：①平成25年 8月27日 ～ 平成25年 9月4日（延べ4日間）
②平成25年 9月24日 ～ 平成25年10月2日（延べ4日間）
会場：①クローバープラザ ②ウエルとばた
参加者：①81名（修了者：81名） ②74名（修了者：74名）

<介護福祉士実習指導者講習会フォローアップ研修>

日 程 : 平成25年11月 7日 (木)
会 場 : 福岡県介護福祉士会研修センター
申込者 : 15名 (うち参加者: 14名)

6) 介護支援専門員研修事業

[目的]

介護支援専門員の資質の向上を図ることを目的とする。

[対象者]

介護支援専門員資格を有している者

[内容]

介護支援専門員に対してケアマネジメント手法や制度改正、高齢者の理解等の資質向上のための研修会を開催する。

[本年度の取り組み]

日 程 : 平成25年 6月 2日 (日)
会 場 : クローバープラザ506研修室
講 師 : 濱 良一 氏 「在宅医療と訪問薬剤師の役割り」
参加者 : 31名 (申込者: 48名)

7) 講師養成研修事業

[目的]

質の高い講師を養成することを目的とする。

[対象者]

介護福祉士

[内容]

初任者研修に派遣する講師を養成するために、授業案の作成方法や講義法などの研修会を開催する。

[本年度の取り組み]

日 程 : 平成25年 6月15日 (土)、6月23日 (日)
会 場 : クローバープラザ 視聴覚室
内 容 : 介護職員初任者研修講師養成研修
参加者 : 73名 (申込者: 74名)

8) 介護技術講習指導者養成講習事業

[目的]

質の高い介護福祉士を養成することを目的とする。

[対象者]

介護福祉士

[内容]

国家試験実技試験が免除になる介護技術講習会の指導者を養成するための講習会を開催する。

[本年度の取り組み]

日 程 : 平成25年 7月28日 (日)、8月4日 (日)
会 場 : ふくふくプラザ 介護実習室
参加者 : 28名 (申込者: 30名)

9) キャリアパス研修会

[目的]

介護従事者の労働環境の整備の一環として、介護事業所などでキャリアパスを構築するためのノウハウを身につけることを目的とする。

〔対象者〕

介護事業所経営者、管理者、介護従事者など

〔内容〕

キャリアパスの概要や導入のノウハウなどについての研修会を開催する。

〔本年度の取り組み〕

実施せず

10) 実務者研修教員講習会事業

〔目的〕

質の高い講師を養成することを目的とする。

〔対象者〕

介護福祉士

〔内容〕

実務者研修に派遣する講師を養成するために、厚生労働省が定めるカリキュラムに基づき教育方法や授業計画案の作成方法等の研修会を開催する。

〔本年度の取り組み〕

日 程 : 平成25年 3月 6日 ~ 平成25年 5月18日 (延べ8日間)

会 場 : クローバープラザ、ふくふくプラザ

修了者 : 62名 (申込者: 63名)

11) その他研修事業

〔目的〕

介護従事者の資質の向上を目的とする。

〔対象者〕

介護従事者

〔内容〕

その他研修事業として、1. 専門部会研修、2. 支部地区研修、3. 介護技術等研修を行う。

1. 専門部会研修

介護分野を老人施設部会、障害施設部会、ヘルパー部会、介護福祉士取得後3年未満の本会会員で構成される「WaKaBa～明日への会～」、本会会員のうち定年退職者で構成される「まりも会」に区分し、それぞれの専門性の向上に資する研修会を開催する。

2. 支部地区研修

福岡県内の5支部13地区において、地域の特性に応じ、制度改正や介護技術など多岐に渡り、地域に密着した研修会を開催する。

3. 介護技術等研修

介護認定審査会、障害程度区分審査会、外部評価調査で活動する委員や調査員に対して研修会を開催する。会員自らが企画し理事会が承認したグループ助成研修を開催する。訪問介護員等が認知症予防と進行防止に繋げることを目的に、福岡県の委託を受け認知症対応力向上研修を開催する。介護福祉士等が得た知識や技術等を職場や地域社会等へ伝えるためのプレゼンテーション研修を開催する。介護職員に求められる医療知識を学ぶ為に医療シリーズ研修を開催する。

〔本年度の取り組み〕

介護従事者を対象にその他研修事業として、以下の研修を行った。

○専門部会研修

<ヘルパー部会>

日 程 : ①平成25年 7月13日

②平成25年 7月14日

会 場 : ①②博多グリーンホテルアネックス

内 容 : 「ヘルパー部会研修」

参加者 : ①23名 (申込者: 29名)、②20名 (申込者: 28名)

<障害者施設部会>

日程：平成25年10月26、27日
会場：ヒルトン福岡シーホーク、西新パレスホール
内容：「障害者支援のための研修」
参加者：延べ148名（申込者：196名）

<老人施設部会>

日程：平成25年 6月30日
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
内容：「職場、仲間、利用者、良好な関係を創るために」
参加者：25名（申込者：42名）

<まりも会>

日程：平成25年 6月16日
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
内容：「尊厳死と緩和ケア」
参加者：34名（申込者：45名）

<WaKaBa～明日への会～>

日程：平成26年 2月 9日
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
内容：「レッツ・レクリエーション～体を動かそう！！～」
参加者：19名（申込者：23名）

○支部地区研修

<北九州市支部>

日程：平成25年 6月22日
会場：ウェルとばた
内容：「スタッフのやる気を10倍アップさせる介護リーダーの仕事術」
参加者：55名（申込者：65名）

<北九州市支部>

日程：平成25年11月 9日
会場：ウェルとばた
内容：「リスクマネジメントは『気づく力』から」
参加者：35名（申込者：55名）

<福岡市支部>

日程：平成25年 8月25日
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
内容：「介護現場での人材育成」
参加者：20名（申込者：23名）

<福岡市支部>

日程：平成25年12月 8日
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
内容：「リハビリテーションを生かした介護技術」
参加者：18名（申込者：23名）

<福岡支部糸島地区>

日程：平成25年 9月29日
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
内容：「検査データの見方」
参加者：33名（申込者：37名）

<福岡支部糟屋地区>

日程：平成25年11月10日
会場：福岡県介護福祉士会研修センター
内容：「医療と食事の関連性」

参加者 : 21名 (申込者: 32名)
＜福岡支部宗像地区＞

日程 : 平成25年 7月20日
会場 : 宗像メイトム交流館
内容 : 「高齢者の熱中症対策」
参加者 : 17名 (申込者: 23名)

＜福岡支部筑紫地区＞

日程 : 平成25年10月 6日
会場 : 福岡県介護福祉士会研修センター
内容 : 「感染症の知識とその予防」
参加者 : 20名 (申込者: 20名)

＜筑豊支部＞

日程 : 平成25年 7月20日
会場 : 飯塚市立岩公民館
内容 : 「一人ひとりに合わせたリハビリ～維持期における介護者からのリハビリ～」
参加者 : 21名 (申込者: 28名)

＜筑豊支部嘉飯山地区＞

日程 : 平成25年12月 8日
会場 : 飯塚市立岩公民館
内容 : 「介護福祉士の視点からのアセスメント・モニタリングについて」
参加者 : 18名 (申込者: 26名)

＜筑豊支部直方・鞍手地区＞

日程 : 平成25年 9月15日
会場 : ユメニティのおがた
内容 : 「褥瘡ケアについて」
参加者 : 15名 (申込者: 19名)

＜筑豊支部田川地区＞

日程 : 平成26年 1月11日
会場 : 福地町ほのぼの館
内容 : 「抱えない介護」
参加者 : 11名 (申込者: 19名)

＜筑豊支部京築地区＞

日程 : 平成25年 8月 4日
会場 : 行橋市中央公民館
内容 : 「現場ですぐ使える検討事例の進め方」
参加者 : 11名 (申込者: 12名)

＜筑豊支部中間地区＞

日程 : 平成25年11月16日
会場 : なかまハーモニーホール
内容 : 「医師との連携～介護福祉士に求めるもの～」
参加者 : 20名 (申込者: 26名)

＜筑後支部甘木・朝倉地区＞

日程 : 平成25年12月15日
会場 : 小郡市総合保健福祉センターあすてらす
内容 : 「障害者の食事摂取(介助)について学ぶ」
参加者 : 7名 (申込者: 9名)

＜筑後支部久留米地区＞

日程 : 平成25年 2月 9日
会場 : いきいき久富デイサービスセンター

内 容 : 「現場で即実勢～介護技術のレベルアップ～」

参加者 : 15名 (申込者: 21名)

<筑後支部八女・筑後地区>

日 程 : 平成25年 9月29日

会 場 : 筑後市総合福祉センター

内 容 : 「心とからだに寄り添う“手当て”『セラピューティックケア』」

参加者 : 18名 (申込者: 18名)

<筑後支部有明地区>

日 程 : 平成24年11月23日

会 場 : サービス付き高齢者住宅パークハウス諏訪公園

内 容 : 「『笑いヨガ』～即、職場で活かすための笑いヨガの勉強会」

参加者 : 14名 (申込者: 26名)

○介護技術等研修

<介護認定審査会・障害程度区分審査会研修>

日 程 : 平成26年 2月 9日

会 場 : クローバープラザ セミナールーム AB

内 容 : 講義・意見交換会

参加者 : 84名

<外部評価調査員新規養成研修>

日 程 : 平成25年 7月23日 ～ 9月11日 (延べ4日間)

会 場 : クローバープラザ

参加者 : 49名 (うち修了者47名)

<外部評価調査員スキルアップ研修>

日 程 : 平成26年 3月11日 (火)

会 場 : クローバープラザ508AB研修室

内 容 : 杉山 孝博 氏 「サービス評価が変える介護サービス」 「認知症介護の理解と援助」 「認知症の方の人権について」

申込者 : 102名 (うち参加者97名)

<医療シリーズ研修>

日 程 : ①平成25年 7月 7日 (日) 「介護福祉・医療各々の独自性を踏まえ連携」
②平成25年 8月10日 (土) 「介護福祉士にとって必要な医療知識と連携における視点」
③平成25年 9月 8日 (日) 「介護福祉士に求められる医療知識 基礎編Ⅰ」
④平成25年10月19日 (土) 「介護福祉士に求められる医療知識 基礎編Ⅱ」
⑤平成25年11月13日 (水) 「介護福祉士に求められる薬の知識 基礎編」
⑥平成25年12月 7日 (土) 「介護福祉士に求められる薬の知識 応用編」
⑦平成26年 1月11日 (土) 「老人保健施設・老人福祉施設における医療知識」
「在宅における医療知識」

会 場 : クローバープラザ、まどかびあ、パピヨン24、電気ビル

参加者 : 577名 (申込者: 808名 ※延べ参加者数)

<訪問介護員認知症対応力向上研修>

日 程 : ①平成25年10月 3日 (木) 「認知症対応力基礎研修」
②平成25年12月 1日 (日) 「認知症対応力基礎研修」
③平成25年12月 4日 (水) 「認知症対応力基礎研修」
④平成25年12月10日 (火) 「認知症対応レベルアップ研修」
⑤平成25年12月11日 (水) 「認知症対応レベルアップ研修」

会 場 : ①北九州国際会議場 21会議室
②クローバープラザ 501研修室
③久留米市民会館 小ホール
④ウェルとばた 多目的ホール
⑤電気ビル 大会議室

参加者 : 454名 (申込者: 454名、修了者: 357名)

【公4】介護を必要とする者などの自立支援を図るための事業

1) 介護認定審査会・障害程度区分認定審査会への委員派遣

〔目的〕

専門職である介護福祉士を委員として派遣することにより、適正な認定審査が行われることを目的とする。

〔対象者〕

市町村、広域連合

〔内容〕

県内の市町村、広域連合が組織する介護認定審査会並びに障害程度区分認定審査会に、適切な人材を派遣し介護保険行政に協力を行う。本会では、介護認定審査会委員、障害程度区分認定審査会委員合わせて200名以上の派遣を行っている。

〔本年度の取り組み〕

県内の市町村、広域連合が組織する介護認定審査会並びに障害程度区分認定審査会に、人材を派遣し介護保険行政に協力を行った。福岡県内の市町村、広域連合延べ26保険者の介護認定審査会に161名、障害程度区分認定審査会に37名の委員を派遣した。

2) 行政機関等が開催する委員会への委員派遣

〔目的〕

介護現場の意見を反映させ県民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

〔対象者〕

県市町村等

〔内容〕

県内で県市町村、広域連合が開催する福祉、医療等に関する委員会などに適切な人材を派遣する。

〔本年度の取り組み〕

福岡県が開催する福岡県社会福祉審議会、福岡県医療審議会等へ委員を派遣した。その他福岡市が開催する福岡市介護保険事業計画策定委員会や、広域連合が開催する介護保険事業計画策定委員会等に人材を派遣した。詳しくは別紙（平成25年度委員派遣・推薦等一覧）参照。

3) 介護サービスの外部評価事業

〔目的〕

介護サービス事業所の質の向上をもって、県民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

〔対象者〕

認知症対応型共同生活介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所

〔内容〕

福岡県並びに北九州市指定調査機関として、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所等からの依頼を受け、実地調査を行うことにより介護の質の向上並びに県民への情報提供に努める。

〔本年度の取り組み〕

福岡県並びに北九州市指定調査機関として、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所からの依頼に対して両事業所へ調査員を派遣し、年間59件（認知症対応型共同生活介護43件、小規模多機能型居宅介護16件）の実態調査を行った。